

森林パトロール通信

平成29年度 第3号 平成29年6月15日発行

遊々の森「森林教室・空中取り木苗作製体験」の実施

平成29年3月に中泊町立中里中学校と協定を更新した「遊々の森」の活動が本年度もスタートしました。本年度の最初の取組として、6月5日(月)に中里中学校の1年生56名を対象とした森林教室とヒバ(ヒノキアスナロ)の空中取り木苗作製体験を実施しました。

※「遊々の森」とは、学校や地方公共団体等と森林管理(支)署長が協定を締結することにより、森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動などへのフィールドとして国有林を活用することができる制度です。



片岡支署長からの森林教室



空中取り木苗作製の練習

当日は、中里中学校体育館での森林教室により森林や国有林等について学習し、空中取り木苗作製の練習を行った後に袴腰山国有林219林班ろ小班へ移動しました。

※取り木とは

- ・ 取り木とは、植物の人工的な繁殖方法の一つで、下枝を押さえつけ土中に埋めるなどして、発根させるものです
- ・ 「空中」取り木とはその取り木部分を地中に埋めずに発根させる方法です。

今回空中取り木として使用するヒバは、伏条更新が活発な樹種であり発根しやすいことから比較的容易に空中取り木苗を作製できるため、このような体験学習に適していると言えます。



空中取り木の発根状況



ヒバの伏条更新



空中取り木苗作製体験

現地は当初雨が降っていましたが、生徒の皆さんが到着する頃には雨も上がり、予定どおり空中取り木苗作製の体験を実施しました。

生徒の皆さんは4～5名ずつの班に分かれ職員の指導の下、カッターを用いたヒバの環状剥皮や剥皮部分への水苔巻き等の作業を、それぞれが分担しながら真剣に取り組みました。

今回作製した空中取り木が発根し、苗木として利用できるようになるのは、3～4ヶ月後です。

9月下旬頃に、その取り木苗の植栽体験を実施する予定です。うまく発根できていればよいですね。



事務局から

夏も近づき、気温や湿度も上がってきました。熱中症対策や突発的な豪雨等の備えを十分に行い、入林していただければと思います。



林野庁 東北森林管理局 津軽森林管理署金木支署 担当:伊達
電話:(一般)0173-53-3115 (IP)050-3160-5875 FAX:0173-53-3197